

救急・救助

# 救 急 解 説

## 1. 救急事故の種別

救急事故等の種別を次の11種に分類する。

### (1) 火災事故

火災現場において直接、火災に起因して生じた事故をいう。

### (2) 自然災害事故

暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。

### (3) 水難事故

水泳中（(6)運動競技によるものを除く。）の溺者又は水中転落等による事故をいう。

### (4) 交通事故

すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

### (5) 労働災害事故

各種工場、事業所、作業所、工事現場等において就業中発生した事故をいう。

### (6) 運動競技事故

運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者、審判員及び関係者等の事故（ただし、観覧中の者が直接運動競技用具等によって負傷したものは含み、競技場内の混乱によるものは含まない。）をいう。

### (7) 一般負傷

他に分類されない不慮の事故をいう。

### (8) 加 害

故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。

### (9) 自損事故

故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。

### (10) 急 病

疾病によるもので救急業務として行ったものをいう。

### (11) その他

転院搬送、医師、看護師搬送、医療資器材等の輸送、その他のもの（傷病者不搬送件数の内、(1)から(10)の救急事故に分類不能のものを含む。）をいう。

## 2. 死傷者の分類

死傷者の程度は、初診時における医師の診断に基づき、次の5類に分類する。

### (1) 死 亡：初診時において、死亡が確認されたもの

### (2) 重 症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

### (3) 中等症：傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの

### (4) 軽 症：傷病の程度が入院を必要としないもの

### (5) その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

### 3. 年齢区分

- (1) 新生児：生後28日未満の者
- (2) 乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
- (3) 少年：満7歳以上満18歳未満の者
- (4) 成人：満18歳以上満65歳未満の者
- (5) 高齢者：満65歳以上の者

### 4. 不搬送理由

- (1) 緊急性なし：傷病者はあるが緊急に搬送する必要がなかったもの
- (2) 傷病者なし：事故はあったが傷病者の発生がなかったもの
- (3) 拒否：酒気を帯びていない傷病者で、傷病者又はその関係者（警察官等も含む）が拒否したもの
- (4) 酩酊：酒気を帯びている傷病者で、傷病者又はその関係者（警察官等も含む）が拒否したもの
- (5) 死亡：救急隊到着時、明らかに死亡していたもの
- (6) 現場処置：現場において応急処置を行い、搬送しなかったもの
- (7) 誤報・いたずら：誤報・いたずらであったもの
- (8) その他：(1)から(7)以外のもの

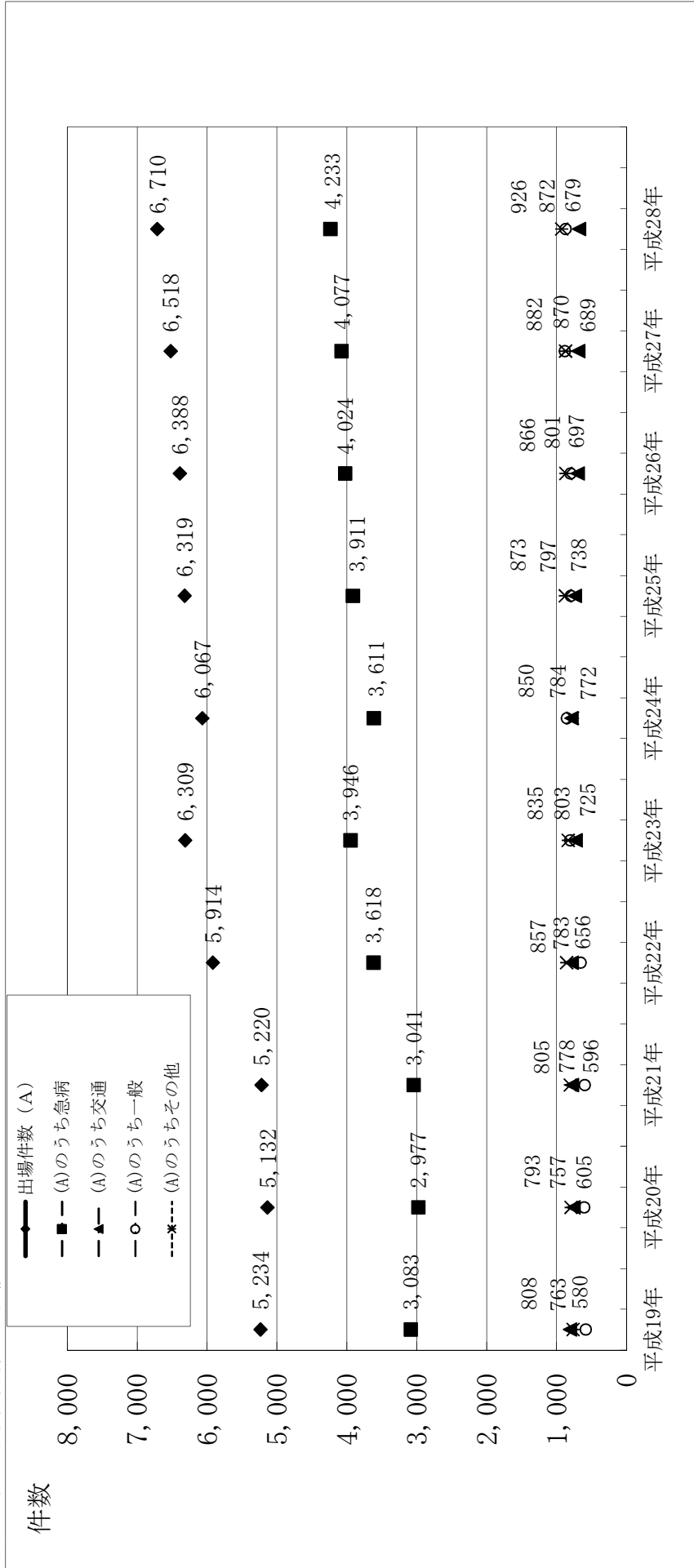
### 5. 応急処置

- (1) 止血：止血帯、包帯等による止血処置
- (2) 固定：副子等による固定又は安静保持
- (3) 人工呼吸：口移し又は器具等による人工呼吸
- (4) 心マッサージ：胸骨圧迫
- (5) 心肺蘇生：心肺蘇生法
- (6) 酸素吸入：酸素吸入器による酸素吸入
- (7) 気道確保：気道確保のための処置並びに口腔内清拭及び吸引の処置
- (8) 内リンゲアルマスク等：救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリングアルマスク等を使用しての気道確保
- (9) 内気管挿管：気道確保のための処置で救急救命士が行った気管挿管処置
- (10) 保温：傷病者の傷病状況から体温を保持する必要がある場合に行う保温処置
- (11) 被覆：創傷をガーゼ等で被覆し、包帯をする創面保護
- (12) 在宅療法：在宅療法継続中の傷病者に対し、その療法維持のために行った必要な処置
- (13) ショックパンツ：ショックパンツを使用した血圧保持の処置（骨折肢の固定を含む）
- (14) 除細動：重度傷病者に対して行う自動体外式除細動器（AEDを含む）による除細動
- (15) 血糖測定：血糖測定器（自己検査用グルコース測定器）を用いた血糖測定
- (16) 静脈路確保：救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、静脈路確保のための輸液

- (17) 静脈路確保：救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、  
静脈路確保および輸液
- (18) アドレナリン投与：救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、  
アドレナリンを用いた薬剤の投与
- (19) ブドウ糖溶液投与：救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、  
ブドウ糖溶液を用いた薬剤の投与
- (20) 血圧測定：血圧計を使用しての血圧測定
- (21) 心音・呼吸音等：聴診器を使用しての心音・呼吸音等の聴取
- (22) 血中酸素飽和度の測定：血中酸素飽和度測定器を使用しての血中酸素飽和度の測定
- (23) 心電図：心電図計を使用しての心電図の測定
- (24) その他の応急処置：(1) から (20) 以外のもの

# 1. 救急

## (1) 救急出場件数の推移



	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
出場件数 (A)	5,234	5,132	5,220	5,914	6,309	6,067	6,319	6,388	6,518	6,710
(A)のうち急病	3,083	2,977	3,041	3,618	3,946	3,611	3,911	4,024	4,077	4,233
(A)のうち交通	808	757	778	783	725	784	738	697	689	679
(A)のうち一般	580	605	596	656	803	850	797	801	882	872
(A)のうちその他	763	793	805	857	835	772	873	866	870	926
搬送人員	4,875	4,728	4,779	5,380	5,464	5,344	5,504	5,611	5,707	5,657

## (2) 救急出場状況

平成28年中

区分	事故種別											搬送人員			
	事故種											計	男	女	計
	火	自然災害	水	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
曜日・月別	1	6	75	7	19	140	14	10	591	34	20	406	352	758	
日	4	1	108	8	3	125	6	3	661	87	16	478	407	885	
月	4	1	86	16	2	121	2	11	611	81	18	426	353	779	
火	3		92	8	2	127	4	7	563	88	32	421	359	780	
水	3	1	92	23	2	112	6	6	603	77	23	451	357	808	
木	3		116	15	2	121	5	9	611	82	19	446	382	828	
金	3	1	110	9	14	126	10	10	593	63	21	436	383	819	
土	21	10	679	86	44	872	47	56	4,233	512	1	3,064	2,593	5,657	
計	2		48	5	4	88	2	3	400	50	10	270	256	526	
1月	1	1	49	8	3	70	3	2	354	45	10	278	184	462	
2月	2	3	55	10	1	63	3	4	376	49	7	262	212	474	
3月		3	64	11	3	71	4	4	325	31	8	238	202	440	
4月	6	1	52	5	9	79	6	7	323	32	12	259	181	440	
5月	1	1	60	13	2	67	1	2	326	40	8	254	186	440	
6月	2		60	4	3	66	7	5	423	53	17	255	288	543	
7月	2		48	10	5	65	3	6	313	40	16	222	208	430	
8月	1	2	49	6	1	69	4	8	320	32	24	242	172	414	
9月	1		62	6	4	93	2	3	352	51	9	268	247	515	
10月	1		60	2	6	63	7	6	350	44	10	251	221	472	
11月	3	2	72	6	3	78	5	6	371	45	1	265	236	501	
12月															

## (3) 地域別医療機関収容状況

平成28年中

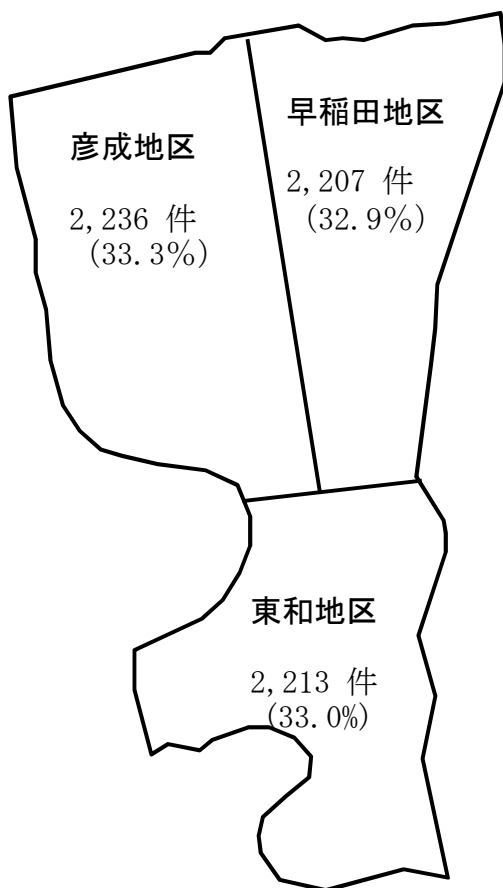
事故種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般	加害	自損行為	急病	その他	計	比率%
地域別														
市内		1			439	58	33	577	20	18	2708	121	3,975	70.3
埼玉県	八潮市				5	1		6			15	11	38	0.7
	草加市				1	1		8			81	24	115	2.0
	越谷市				24	3	4	31	4	8	163	64	301	5.3
	吉川市				5	1		11			29	7	53	0.9
その他				4	1		2			11	57	75	1.3	
東京都	葛飾区				2			1	1		34	22	60	1.1
	足立区				7			4			16	4	31	0.5
	板橋区										8	4	12	0.2
	荒川区										2		2	
文京区							1			19	11	31	0.5	
その他				1			1			12	21	35	0.6	
千葉県	松戸市				93	18	4	67	5	7	359	126	679	12.0
	流山市				17		1	20	2		123	27	190	3.4
	柏市				1		1	2			30	12	46	0.8
その他							2			6	4	12	0.2	
その他								1			1		2	
計		1			599	83	43	734	32	33	3,617	515	5,657	100

## (4) 住所別搬送人員状況

平成28年中

住所別	月別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
三郷市内	449	388	398	352	365	347	435	330	325	435	393	411	4,628
埼玉県(三郷市を除く)	31	38	39	32	24	45	52	47	42	33	32	47	462
東京都	26	13	16	29	27	28	27	23	24	22	20	21	276
千葉県	14	20	13	16	17	13	18	19	17	18	16	14	195
その他都道府県	5	3	8	11	6	7	11	7	5	6	11	7	87
不明・その他	1				1			4	1	1		1	9
計	526	462	474	440	440	440	543	430	414	515	472	501	5,657

(5) 地区別救急出場状況



平成28年中

事故種別 地区別	交 通	一 般 負 傷	急 病	そ の 他	計
彦成地区	193	287	1,461	295	2,236
うち みさと団地	13	98	618	109	838
うち さつき平	3	36	128	6	173
早稲田地区	225	314	1,390	278	2,207
うち 早稲田団地	2	21	86	7	116
東和地区	225	270	1,372	346	2,213
常磐自動車道	20	0	3	4	27
東京外環自動車道	5	0	0	0	5
首都高速道路	9	0	0	0	9
市外	2	1	7	3	13
計	679	872	4,233	926	6,710

左図のほか

常磐自動車道	27 件	(0.4%)
東京外環自動車道	5 件	(0.1%)
首都高速道路	9 件	(0.1%)
市外	13 件	(0.2%)

(6) 管内別救急出場状況

平成28年中

事故種別 管内別	交 通	一 般 負 傷	急 病	そ の 他	計	搬 送 人 員
本 署	329	406	1,818	383	2,936	2,537
南 分 署	153	199	989	257	1,598	1,350
北 分 署	197	267	1,426	286	2,176	1,770
計	679	872	4,233	926	6,710	5,657



## (7) 時間別救急出場件数

平成28年中

時間帯	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
0時～2時					22	1		32	7	2	252	24	340
2時～4時					11	2		35	8	5	188	15	264
4時～6時		1			24	3		21	5	7	238	18	317
6時～8時		1			85	5	1	48	2	3	309	15	469
8時～10時		3	1		84	13	3	93	1	3	476	63	740
10時～12時		4			49	12	11	106		7	486	128	803
12時～14時		3	1		80	14	8	108	1	4	430	119	768
14時～16時		2	4		84	14	15	92		4	419	79	713
16時～18時		2	2		95	9	3	112	1	4	338	88	654
18時～20時		2			68	4	1	91	7	5	389	56	623
20時～22時		1	1		37	6	1	77	6	6	398	32	565
22時～24時		2	1		40	3	1	57	9	6	310	25	454
計		21	10		679	86	44	872	47	56	4,233	662	6,710

## (8) 事故種別年齢区分別搬送人員

平成28年中

年齢区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児								1			5	40	46
乳幼児					20			82			224	29	355
少年					75	1	24	37	1		73	12	223
成人		1			375	69	18	149	25	26	1,071	146	1,880
高齢者					129	13	1	465	6	7	2,244	288	3,153
計		1			599	83	43	734	32	33	3,617	515	5,657

## (9) 事故種別傷病程度別搬送人員

平成28年中

傷病程度	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
死亡					1	1		2		9	69		82
重症					22	5	1	31	2	7	267	118	453
中等症		1			117	28	7	207	4	11	1,436	341	2,152
軽症					459	49	35	493	26	6	1,844	56	2,968
その他								1			1		2
計		1			599	83	43	734	32	33	3,617	515	5,657

## (10) 事故種別不搬送理由別不搬送件数

平成28年中

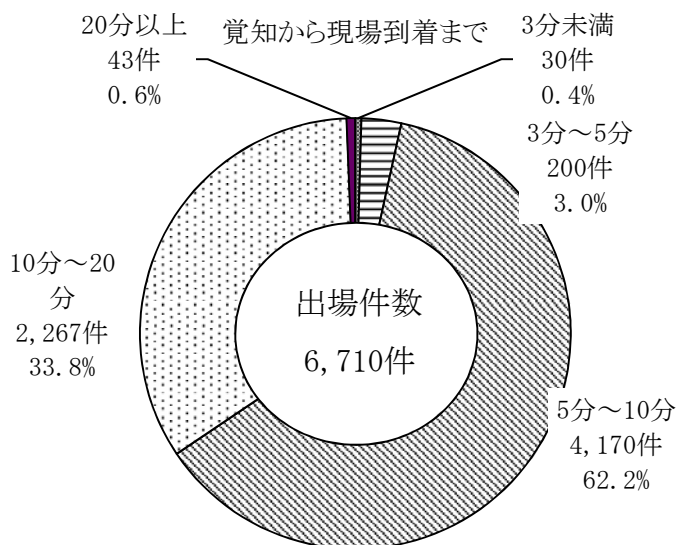
事故種別 不搬送理由	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
緊急性なし				4			3		2	14	8	31
傷病者なし	18		1	1				2			13	35
拒否				10			5	1	1	5	3	25
酩酊							3	1	1	8	8	21
死亡			6				2		12	82	5	107
現場処置	1			104	2	1	124	10	6	495	47	790
誤報・いたづら			1	2					1		53	57
その他	1		2	6	1		3	1		20	10	44
計	20		10	127	3	1	140	15	23	624	147	1,110

## (11) 救急隊員の行った応急処置件数

平成28年中

事故種別 応急処置	急病	交通	一般負傷	その他	計
止血	22	27	56		105
固定	45	286	147	4	482
人工呼吸	9	1		2	12
心マッサージ	1				1
心肺蘇生	94	1	4	3	102
酸素吸入	874	35	33	181	1,123
気道確保	157	2	12	7	178
内ラリングマスク等	47		1		48
内気管挿管			1		1
保温	157	40	23	24	244
被覆	17	111	193		321
在宅療法継続	8		1		9
ショックパンツによる血圧保持					
除細動	9			1	10
静脈路確保	61	4	1	4	70
ショック輸液	31	4		1	36
アドレナリン投与	4				4
血糖測定	84	2	4	1	91
ブドウ糖溶液投与	17	1		1	19
血圧測定	3,415	589	684	636	5,324
聴診器による心音等聴取	1,715	251	156	174	2,296
血中酸素飽和度の測定	3,508	594	718	679	5,499
心電図	2,057	99	146	276	2,578
その他の応急処置	3,498	571	704	632	5,405
計	15,830	2,618	2,884	2,626	23,958

(12) 現場到着所要時間別出場件数

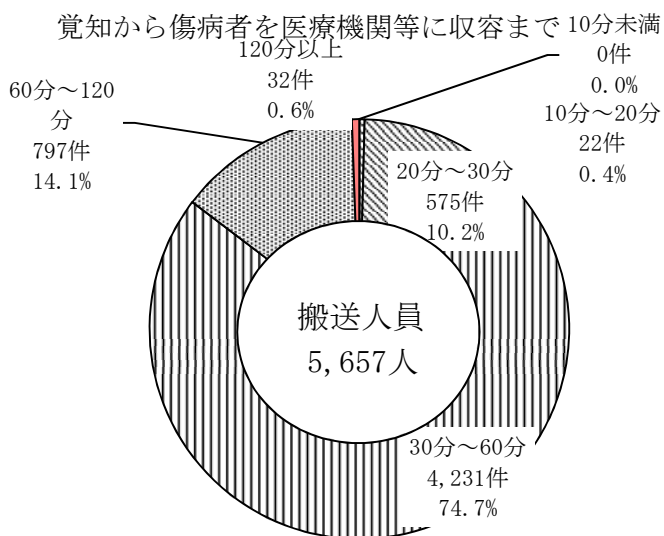


現場到着  
☆  
最短所要時間 0分

現場到着  
☆  
最長所要時間 73分

現場到着  
☆  
平均所要時間 8.8分

(13) 収容所要時間別搬送人員



収容所要時間  
☆  
最短収容時間 13分

収容所要時間  
☆  
最長収容時間 227分

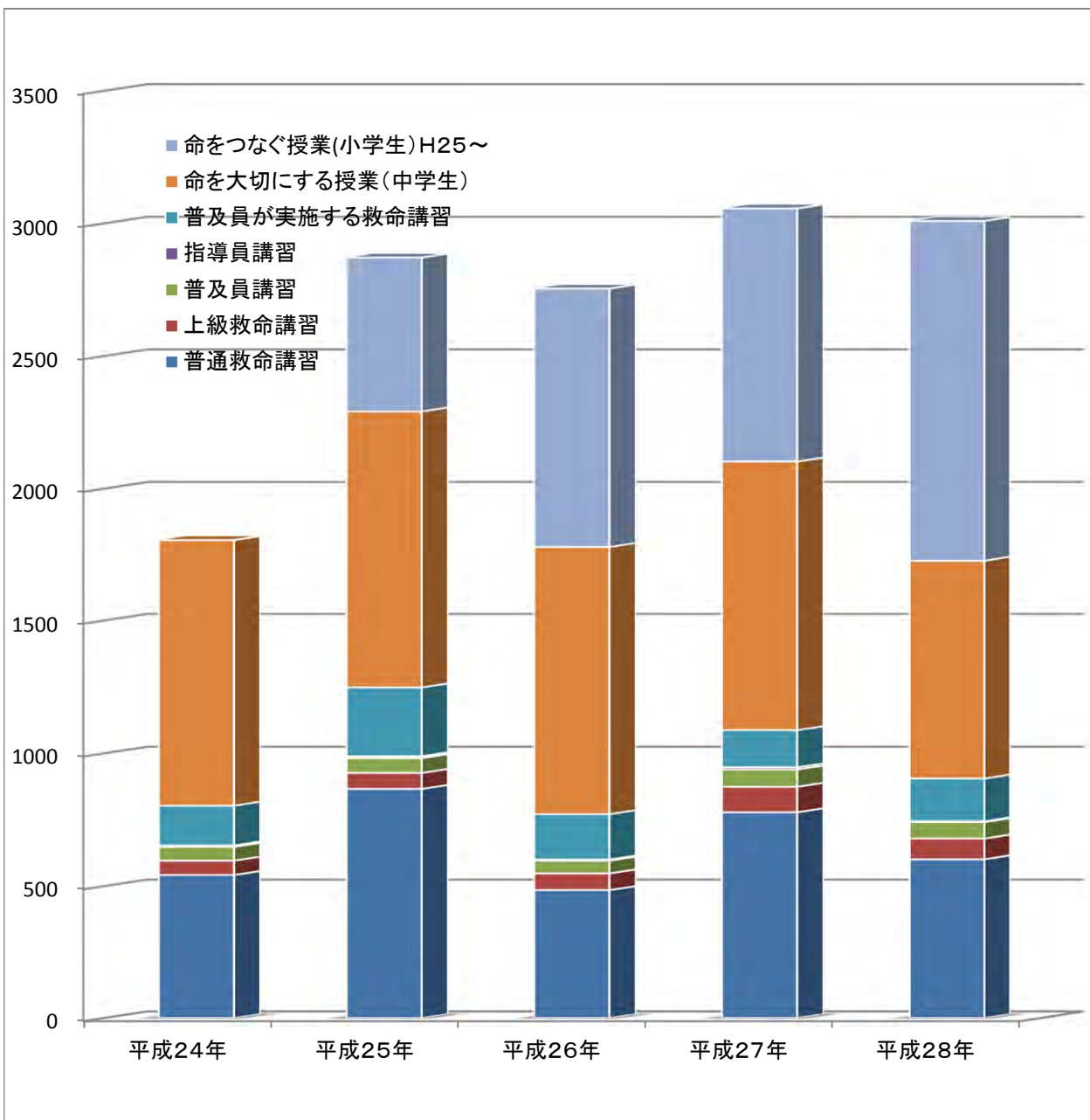
収容所要時間  
☆  
平均収容時間 45.4分

(14) 応急手当講習受講者状況

応急手当講習受講者状況

平成28年中

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
普通救命講習 (入門・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)	543	867	486	779	602
上級救命講習	54	60	63	96	78
普及員講習	52	56	48	65	62
指導員講習	5	7	4	8	3
普及員が実施する救命講習	150	259	171	140	161
命を大切にする授業(中学生)	1003	1043	1009	1015	820
命をつなぐ授業(小学生)H25～		580	974	954	1284
受講者総数	1807	2872	2755	3057	3010



2. 救 助

(1) 救助出動状況

平成28年中

事故種別 区分	火	災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	計
	13[7]		48	4	0	1	3	0	0	11	87
出動件数	13[7]		16	3	0	1	3	0	0	8	51
活動件数	13[7]		17	3	0	0	2	0	0	7	30
救助人員	1[0]		164	14	0	0	4	0	0	28	287
救助隊員	48[29]		295	36	0	7	10	0	0	69	745
消防隊員	250[78]		195	12	0	0	6	0	0	30	300
救急隊員	36[21]		654	62	0	7	20	0	0	127	1332
計	334[128]		39	3	0	0	1	0	0	7	69
救助工作車	12[7]		63	8	0	2	2	0	0	15	147
消防ポンプ車	43[14]		65	4	0	0	2	0	0	11	101
救急自動車	12[7]		43	7	0	0	1	0	0	8	112
その他	40[13]		210	22	0	2	6	0	0	41	429
計	107[41]										

[ ]建物以外

(2) ドクターヘリ要請件数

## ドクターヘリ要請件数 平成28年中

事故種別	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
急病	0	0	0	0	1	0	0
交通	13	7	2	3	3	4	2
一般	2	1	0	1	1	1	1
労害	2	3	1	1	3	1	2
自損	0	0	3	2	1	0	2
加害	1	0	0	0	1	0	0
上記以外	0	0	0	0	0	0	0
合計	18	11	6	7	10	6	7

